社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団 五色精光園

支える心とおもいやり

vol. 91

精光園だより

365日24時間看護師配置の安全安心な施設

令和2年 1月発行

R1/9/12 総合防災訓練　～「ひょうご・トルコ地震防災対策プロジェクト」で来日された４名のトルコ人研修員の方と共に～・・・P3

行事紹介

第14回五色精光園祭

令和元年10月26日（土）、「ありがとうの笑顔　地域とスクラム　みんなの未来へ」のテーマで第14回五色精光園祭が成人寮運動場にて、盛大に開催されました。天候にも恵まれ、オープニングセレモニーの五色和太鼓「響」の演奏で幕を開け、ちずる&村上二郎によるふれあいコンサートや吹奏楽部による出し物が披露されました。また、今回の五色精光園祭では全員参加によるレクリエーションとして、大玉送りと玉入れを行い、熱気溢れる応援の中、利用者の皆様、保護者や地域の方々が力を合わせて競技に取り組み、大いに盛り上がりました。今年も淡路露天組合をはじめさまざまな事業所が出店し、たこ焼きやラスクなどの販売が行われ、来場された方を楽しませてくれました。出演者、来賓含めて600名あまりの大勢の参加を得て大成功のうちに終えることができました。

第15回発達支援セミナー

令和元年8月21日（水）、洲本市文化体育館にて、「第15回発達支援セミナー」を開催しました。今年度は、「自分らしく暮らす、地域を活かす～共生社会の実現に向けて～」をテーマに、障害をもつ方々が暮らしやすい地域社会について考えるセミナーとしました。

第一部は、岡山県発達障害当事者会「どろだんごの会」代表の瑠璃真依子氏に、貴重な経験談や特性の理解とサポートについて、そして生きることの素晴らしさについてご講演いただきました。ご参加いただいた方々から、「障害をもった方であっても、支援によって輝くことがあると希望をもつことが大事」「命は捨てたら戻らないことを深く理解されている」等のご感想をいただきました。

第二部は、愛知県を中心に、障害のある方を中心に考えられた様々な事業を展開されている社会福祉法人むそう理事長の戸枝陽基氏に、地域社会へのアプローチや、私たちに求められる役割について、たくさんの経験に基づかれたご意見をお話しいただきました。ご参加いただいた方々から、「地域社会との連携を図れば、いろんな可能性が出てくるのだと思った」「親が将来を見通せるシステムをつくっているところが素晴らしい」等のご感想をいただきました。

2つの講演から、障害の当事者への理解と家族を含めた支援について、多くの大切な視点を得ることができました。

総合防災訓練

令和元年9月12日（木）、全事業所合同で総合防災訓練を実施しました。今回は風水害想定の訓練で、当日は、警察と消防の方も来園され、毎月の避難訓練よりも大規模に行われました。

このような規模の訓練は他でもあまり行われていないようで、来園された警察署の方も感心しておられました。

また、当日は「ひょうご･トルコ地震防災対策プロジェクト」で来日された4名のトルコ人研修員の方も参加されました。イスラム教徒の彼らに合わせてハラール認証の非常食を提供し、大変喜んでいただきました。訓練後、スモークマシンを使用したスモーク体験も実施され、トルコ人研修員の方にも体験していただき、貴重な国際交流の機会を持つことができました。

訓練では、大きな混乱もなく全員スムーズに避難することができました。本当の災害が発生したときにも今回の訓練で体験したことを思い出して、落ち着いて避難できるように心掛けたいです。

大道芸人ショー

令和元年12月10日（火）当園に大道芸人がやってきました。幅広い年齢層に大人気のQちゃんとまつだこうきさんです。まず初めにまつだこうきさんが登場。ジャグリングやマジック、小道具を駆使したコメディパフォーマンスを披露してくださいました。

幻想的な音楽に合わせてテーブルが浮かぶマジックにはご利用者だけでなく職員達も目をパチクリさせて注目していました。

お二人目はスマイルパフォーマーQちゃんが登場。

『いつもココロにスマイルを』がテーマで、一度見たら忘れられない笑顔が特徴です。

バルーンアートやジャグリングなどユーモア満載でとびきりの笑顔を届けてくれました。

ご利用者は不思議顔からびっくり顔、最終的には笑顔へとクルクルと表情が変化し、個性溢れるパフォーマンスに釘付けでした。

ご利用者も皿回しを体験するなど、参加型のわかりやすいショーでもありました。楽しい時間もあっという間でしたが、思い出に残るひと時となりました。

日中活動等紹介

児童寮

サマーフェスティバル

児童寮では、7月末にサマーフェスティバルを開催しました。この日に向けて利用者様と職員で力を合わせて準備をしました。今年は本物の竹で流しそうめんを行い、季節感を楽しみながら食事を頂きました。その他、焼き鳥、かき氷等のメニューも提供し彩りを添えましたステージ披露では、利用者様が一生懸命練習してきたフラダンスを、また職員自身もライブを披露した結果、会場は大いに盛り上がりました。最後には、淡路伝統芸能研究会の協力により、阿波踊りを披露して頂きました。参加者全員は一体となり阿波踊りに参加し、貴重な体験となりました。

親子バス遠足

令和元年10月5日（土）、児童寮では「親子バス遠足」を実施しました。行き先は希望の多かったニューレオマワールドです。遠足当日は天候に恵まれ、快晴の中で遠足を楽しむことができました。現地到着後は、ビュッフェ形式で各自が好きなメニュー選び、普段と違う食事形態に利用者様は大変満足そうな様子でした。食事後は班毎で自由行動時間を設け、自由に園内を散策し、好みに応じてアトラクション等を満喫しました。また、最後にお土産の購入を終え、参加者全員が楽しい表情で遠足を終えることが出来ました。

成人寮

令和元年度成人寮ユニット交流行事第1回第2回

令和元年7月8日（月）に第1回「七夕会」を、9月20日（金）に第2回「大玉送り・玉入れ」を開催しました。「七夕会」では、利用者の皆様がそれぞれ思い思いの願い事を短冊に書いて笹に結びました。また、「織り姫・彦星」の顔出しパネルをつくり、希望された方々が顔を出して記念撮影を行いました。普段はユニットごとの活動ですが、その日は交流の日、パネルに向かうまでの間に、近況などをご紹介しました。最後に「たなばたさま」も合唱しました。

ばんたん・ゆうあい文化祭

令和元年11月22日（金）、姫路文化ホールで開催された第28回ばんたん・ゆうあい文化祭に出演しました。今年は、舞踊と五色和太鼓「響」が合同で出演しました。本番当日、姫路文化ホールに向かうバスの中で、みんなで「わっしょい」の掛け声の練習をしました。出番が近づいてくるにつれて、利用者から「楽しみやなあ!」「緊張している」という言葉がありました。本番では、アクシデントもなく舞踊は華麗に踊り、太鼓についても音楽に合わせてリズムよく叩けていました。本番終了後、利用者から「楽しかった」「また、したい」という感想がありました。

かがやき事業所

お菓子作り頑張っています！！

グループホームかがやきでは、現在6人のご利用者様が余暇時間を利用してお菓子作りに励まれています。作る時には自分たちで考えて、「ホットケーキにクリームを乗せたらおいしそうかな。」「今度はパフェを作ってみたら、みんな喜んでくれるかな。」と、自分の意見や思いを出し合い、支援員や世話人のアドバイスを受けながら、一緒に作っています。出来上がったお菓子はホームの皆さんに振る舞い、「とてもおいしい。」「ありがとう。」「また作ってね。」と喜んでもらえると、「次も頑張って作ります。」と意欲満々な笑顔が見られる場面もありました。グループホームでは、この様な個別での支援を個別支援計画に盛り込み、ご利用者様の充実したライフスタイルの提供を行っています。

あゆみの部屋事業所

応援合戦

令和元年10月26日(土)、第14回五色精光園祭に於いて、『あゆみの部屋御輿(みこし)』と『カラフル衣装』を手作りして応援合戦の演目に出場しました。利用者と職員が一丸となり、日頃の日中活動(マット編み、エコバック作り、パンやクッキーの製造、野菜作り)で培った力を発揮し、御輿用のペーパーフラワーやトンガリ帽子等を作成し、本番では、大声で玉入れや大玉転がしを応援しました。その甲斐あって、栄誉ある特別賞を頂きました。

コスモス事業所

日中活動の様子「花の苗や球根を植えました」

コスモス事業所では、中庭の花壇に季節の花を植えています。11月の外出活動で花の苗や球根を選んで購入し、その日の内にチューリップ、葉牡丹、パンジーなど色とりどりの花を植えました。天気の良い日には、草引きをしたり、水をあげたりお世話をしています。利用者様の中には「早く咲かないかなあ」「何色が咲くのかな?」と満開に咲くことを日々楽しみにしています。

食を通して、より豊かな生活を

「食べること」は生きるためには欠かせないとても大切なことです。適正な栄養を確保し、健康の維持・増進を図るのはもちろんですが、生活に潤いや楽しみをもたらす重要な要素となります。豊かな食体験は、生涯にわたって心身共に健康的に過ごすための土台となり、生きる力となります。

当園では、家庭的でぬくもりのある食事作り、バラエティ豊かな食事作りに努め、毎日の食事がご利用者の豊かな食体験に繋がるよう心がけています。また法人内の他施設の栄養士と協働して、遊びながら楽しく学べる食育カルタを作成し、正しい食習慣の習得を目指して食育にも取り組んでいます。

編集後記

今回の五色精光園だよりをご一読いただき、ありがとうございます。年号が平成から令和に変わり、五色精光園でも、これまでと変わらず大切にしていきたいものと、どんどん新しいことを取り入れ魅力ある施設にしたいという思いの両方が伝わるように思いを込めて編集しました。
この広報誌から五色精光園の令和元年を少しでも感じていただけたら幸いです。これからも利用者の活動や施設の取り組み等をお届けして参りますので、ご期待下さい。

あゆみの部屋・S

パン工房あゆみ

天然酵母、国産小麦を使用したパンを販売しています。
自然のおいしさをおとどけします。
お気軽にお問い合わせ下さい。

焼き菓子

手作りで優しい味のクッキー10種類、カップケーキ3種類。

贈答品も承っております。
パンフレットも用意しておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

ご注文は下記にてお電話・FAXで承ります

五色精光園あゆみの部屋事業所
〒656-1317 洲本市五色町鮎原小山田510-7
TEL 0799-32-0400 FAX 0799-32-0410

五色精光園 コスモス事業所
〒656-0042 洲本市池内1248-6
TEL 0799-23-1421 FAX 0799-23-1422

社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団
五色精光園
http://www.hwc.or.jp/seikouen/

●児童寮●
〒656-1337
兵庫県洲本市五色町下堺1062-3
TEL 0799-35-0326 FAX 0799-35-0725
メール jidouryo@theia.ocn.ne.jp

●成人寮●
〒656-1332
兵庫県洲本市五色町広石北847
TEL 0799-35-0231 FAX 0799-35-0844
メール seikouen@athena.ocn.ne.jp

●かがやき事業所●
〒656-1331
兵庫県洲本市五色町都志大日707
TEL 0799-33-1192 FAX 0799-33-1191
メール kagayaki@sand.ocn.ne.jp

●あゆみの部屋事業所●
〒656-1317
兵庫県洲本市五色町鮎原小山田510-7
TEL 0799-32-0400 FAX 0799-32-0410
メール ayuminoheya@canvas.ocn.ne.jp

●コスモス事業所●
〒656-0042
兵庫県洲本市池内1248-6
TEL 0799-23-1421 FAX 0799-23-1422
メール cosmos-sumoto@solid.ocn.ne.jp